

大分県医療・福祉労働組合連合会（大分県医労連）  
〒874-0938 大分県別府市末広町 6-27 ミッドビル2B  
Tel : 0977-75-7556 Fax : 0977-75-7560  
E-mail : [irouren3984@bloom.ocn.ne.jp](mailto:irouren3984@bloom.ocn.ne.jp) ホームページ : <http://oita-irouren.net/>

平成 25 年 6 月 6 日発行

## 国会議員要請・署名行動!! 3月5日~6日中央行動に参加して!!



安全・安心の医療・介護の実現のために夜勤改善と大幅増員を求める「5・28 国会議員要請・署名行動」が、5月28日衆議院第1議員会館で行われ、約281名が参加しました。意思統一集会では、日本医労連の山田委員長（写真左）が「憲法16条でも認められている『請願権』で、小さい声でも現場から声を出して政治を動かしましょう」とあいさつされ、紹介議員45名のうち3名の議員の先生が参加していただきました。その中でも大分出身



の社民党参議院の吉田 忠智議員（写真右）と自民党衆議院の穴見 陽一議員が、紹介議員になっていただき激励のあいさつをいただくことができました。大分県医労連池田委員長から「看護師・介護士また医師を増やして頂きたい」とお願いし、大分県からの署名を直接手渡すことができました。（写真下）両議員の先生からも「皆さんの現場の声が届くように我々も努力し署名をお預かります。共に頑張りましょう」ととても感動するお言葉をいただきました。その後衆議院議員事務所2カ所、参議院議員事務所7カ所を全医



労本部の方と大分3名でまわることができました。今回のことで「署名の力は大きい」と実感し『諦めない』で、沢山の署名を集めて改善を求めましょう!

検索! <http://oita-irouren.net/>

3月5日~6日に東京で開催された日本医労連「中央行動」に参加しました。1日目は意思統一集会が行われ、山田委員長（写真右）の挨拶、中野書記長の基調報告がありました。看護師の夜勤改善・大幅増員を徹底的に訴えかけるとい強い思いを熱く語りその言葉一つ一つに意志の強さ、そしてこの春闘にかける思いが込められていたように感じました。その後、日比谷公会堂に移動し約2000人以上参加しました。どの団体も労働条件の見直しや最低賃金の引き上げなどを訴え、その中でも医労連の現職看護師の方の言葉は非常に印象的でした。その内容は「夜勤は身体衛生上悪いという事は分かっています。しかし、私は多い時で月に8回以上の夜勤を強いられています。私は看護師という仕事が好きです。でも今の環境ではこれから看護師を目指す若い世代にこの仕事を勧める事は出来ません」という内容でした。理学療法士と看護師という職の違いはありますが、こういった現状を目の当たりにし、同じ現場で働く身として無視できないと感じました。その後、衆議院・参議院議員会館にて今回の目玉とも言える議員要請を行いました。残念ながらどの議員も秘書対応でしたが、看護師の増員と夜勤改善を訴えました。一度だけ私も話させてもらいましたが、とても緊張しました。2日目は衆議院議員会館にて政府交渉を行いました。【報告：佐藤病院労組】



労働組合とはなんぞや?

第2回口頭弁論が、6月5日大分地方裁判所で行われました。傍聴20席で法廷内に入れきれず、外で待つ人も多いこの裁判。労働者にとっては重要な裁判となっていることは間違いありません。労働者は、雇用されている立場として弱いものです。「職場の権力を利用した、嫌がらせ」「職場において、地位や人間関係で弱い立場の労働者に対して、精神的また身体的な苦痛を与えることにより、結果として労働者の働く権利を侵害し、職場環境を悪化させる行為」これらはパワーハラメント（パワハラ）です。パワハラが問題になってきた背景には、労働環境の悪化により職場に余裕がなくなり職場におけるいじめが増加してきたことがあります。職場で働けない状態になり休職・退職する人が増加しています。誰にも相談できず、誰かに相談したら「あなたが考えすぎ」と言われてしまうケースもあります。では、こんな時どうしたら良いのでしょうか？ 私たち労働者には、『労働組合』というのがあります。労働組合は、賃金をあげて・ボーナスを増やしてということばかりではありません。働き続けられる職場環境が重要で、そのために生活の諸条件を維持し改善を求めいく団体です。メンタルで休職・退職する前に相談してください。

次回に続く...